

## 2016.10.21：都市整備建設協議会 本文

○菅原正和委員　　今、1周年記念の説明を受けたのですけれども、私から記念行事の i c s c a でぐるぐるグルメという企画と、八木山動物公園イベントに関して、イクスカを持つことによって割引きの企画という説明が今ございました。今後も仙台市として、地下鉄沿線施設と連携して実施する予定はあるのかどうかお聞きします。

○交通局経営企画課長　　沿線施設と連携した取り組みといたしましては、現在沿線施設に1日乗車券や小中学生を対象とした期間限定の1日乗車券である秋のジュニアパスを御提示していただいた場合に、入園料無料または割引きとする取り組みを行っております。

また、東西線開業1周年記念事業といたしましても、東西線沿線の店舗にイクスカを御提示いただきますと特典を受けられる企画や、地下鉄を利用して八木山動物公園にお越しいただいたお客様の入園料を割引きとする企画などを実施いたします。

沿線施設との連携につきましては、今後もどのような取り組みが可能であるか、引き続き検討してまいりたいと考えております。

○菅原正和委員　　今、記念グッズのことで説明があったのですけれども、開業のときには開業のイクスカを発売したと思うのですけれども、1年たって、その記念のイクスカというのは発売する予定はないのでしょうか。

○交通局経営企画課長　　今回の記念グッズ発売でございますけれども、今回は走るストラップとICカードケースということでグッズの発売を考えてございまして、またこちらの事業の10番目でございますけれども、年末年始地下鉄1日乗車券という、年末年始に利用できます記念1日乗車券、こちら500円でございまして、こちらの販売を予定しております。現在のところ、記念のイクスカといったところでの発売については、予定してはございません。

○菅原正和委員　　1年ということで、イクスカの利用促進を図るために数々の企画を打ち出すということは、非常にいいと私は評価しているのですけれども、イクスカを利用することで発生するポイントというのがあるかと思っておりますけれども、これがまだまだ市民に浸透していないような気がするのです。イクスカはありますよ、よく知っています。ポイント制度も知っています。ただ、チャージするとか、ポイントが1円に換算になるとか、券売所とかみやぎ生協でチャージができるとか、そういう質問を投げかけていくと、市民の方って意外と知らないという方が結構いらっしゃるのです。

交通局としてもそういうアンケートはとられているかと思うのですけれども、どういう質問をして、どういう結果を生んでいるのかということと同時に、直近のイクスカの発行状況と失効ポイントの状況、そしてポイントの失効率がどのぐらいなのかお示してください。

○交通局経営企画課長　　私どもでさまざまなイベントでございますが、例えば交通フェスタなどのイベントにおきまして、イクスカのポイントなどについての認知度のアンケートをとっ

ております。このアンケートでは、バス、地下鉄の利用頻度、イクスカの御利用でポイントがたまることやポイントチャージの仕方、ポイントの失効について知っているかどうか伺っておりますが、バス、地下鉄の利用頻度が低くなるにつれて、これらの認知度が下がる傾向がございます。

現在、イクスカの発行状況といたしましては、まず直近でございますけれども、9月のデータで約1万枚、累計で44万枚となっております。

また、9月末で失効したポイントといたしましては約300万ポイントで、付与しておりますポイントに占める率、失効率でございますが、こちらは29.7%となっているところでございます。

○菅原正和委員　今のお話を踏まえて、イクスカを利用するに伴い、発生するポイントをどうやってチャージさせていくのかというのが非常に問題だと思います。今説明にあったとおり、この3年間で44万枚が発行された。そして、昨年度、平成27年度11月、12月、1月、この3カ月間で18万4000枚が発行されております。それが間もなく1年を向かえようとしております。今の失効率からいうと二十九点幾らですか。それを単純に計算しても、かなりの額が失効していくかと思うのですけれども、この失効を防ぐためにどのようなPRを今まで行ってきたのかということと、今後どのようなPRをしていくのかということをお示してください。

○交通局経営企画課長　ポイントのチャージ方法や失効などにつきましては、これまで地下鉄では現金のチャージの際に目にとまるよう、券売機付近への掲示を行い、バスではお客様の多い仙台駅前周辺の区間で車内放送を実施しているほか、市政だよりや交通局ホームページへの掲載、地下鉄各駅窓口などにおけるリーフレットの配布、バス、地下鉄の車内や市民センターなどへのポスターの掲出などにより周知を図ってきたところでございます。

また、今後でございますが、失効される方は普段余りバス、地下鉄を御利用にならない方も多いと考えまして、これらの方々にも周知を図るため、新たに市政ラジオやフリーペーパーなどの媒体を活用した広報にも取り組んでまいりたいと考えております。

○菅原正和委員　今の回答にあったとおり、よく利用なされている方は、きちんとチャージをしている。余り使っていない人はチャージをしていないということでポイントが失効している例が多いかと思えます。

ことし8月に仙台七夕前夜祭のときに、地下鉄の車両内で聞きましたら、トレインビジョンというそうなのですけれども、トレインビジョンに出口が封鎖になっていますよとか、テロップで流れたと思うのですけれども、あれを活用しまして、何月になったらポイントチャージしません、失効しますよ、そういう表示の仕方も一考だ思うのですけれども、それについてどういう認識をお持ちかお答えください。

○交通局経営企画課長　ポイントチャージの御案内につきましては、継続的な呼びかけが必要であると認識しており、御提案のごさいましたトレインビジョンの活用も含め、さらなる周知に努めてまいりたいと考えております。

○菅原正和委員　今、前向きに検討していただけるということで、やはり目につくというのが一番早急な方法だと思いますので、ぜひともPRの一助としてそういうのを考えていただければと思います。